

## 教育目標及び卒業生の特性

教育目標	卒業生の特性
1 人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として、幅広く理解する能力を身につける。	(1) 人間は、身体的・精神的・社会的に統合された生活者として理解できる。 (2) 人間は、ライフサイクルの各段階（胎生期から老年期、死）において成長・発達し、変化し続けていることが理解できる。 (3) 人間は、かけがえのない尊い存在であり、独自の信念、価値観など固有の自己概念をもつことが理解できる。 (4) 人間は、可能性を持ち、基本的欲求に動機づけられて自己実現を目指して生きていることが理解できる。 (5) 人間は、変化する環境とたえず相互作用する存在であることが理解できる。
2 人々の健康上の問題を解決するため、科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を身につける。	(1) 科学的根拠に基づいた看護が実践できる。 (2) 健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、および健康の状態や生活の場に応じた看護が実践できる。 (3) あらゆる個人・家族・集団に対して看護が実践できる。 (4) あらゆる成長発達段階の対象に看護が実践できる。 (5) 対象との相互作用により信頼関係を築くことができる。
3 社会の要望に対応して、人々の健康のために保健医療・福祉チームの一員として活動できる能力を身につける。	(1) 保健医療・福祉チームにおける看護の活動、役割が理解できる。 (2) 他職種と連携を持ち協働することができる。 (3) 医療保健・福祉制度を理解し、社会資源を活用することができる。
4 人間の生命を尊重し、人々の多様な価値観を認識し、専門職業人としての姿勢を身につける。	(1) 生命の尊厳を守り、対象の人権を擁護できる。 (2) 人間の価値観、霊的側面、倫理に関して理解できる。 (3) 専門職業人として倫理に基づいた行動がとれる。 (4) 人間の生・老・病・死に関して共感的態度をとることができる。 (5) 良好な人間関係を成立・発展させることができる。 (6) 自己の看護観を述べることができる。
5 主体的に学ぶ姿勢を身につけ、豊かな人間性を養う。	(1) 自己学習能力を養い、主体的に学習することができる。 (2) 自己の意見を持ち、表現することができる。 (3) 社会の変化や国際情勢に対して、幅広い視野を持つことができる。